

苫小牧市教育委員会会議録

会 議 区 分	苫小牧市教育委員会 第 5 回 定例委員会
日 時	平成21年 3月23日 自 15時00分 至 17時05分
場 所	苫小牧市役所 9階第2委員会室
出 席 委 員	委 員 長 吉 本 俊 憲 委 員 鈴 木 正 樹 委 員 佐 藤 郁 子 委 員 佐 藤 守 委 員 山 田 眞 久
欠 席 委 員	
会議録署名委員	鈴 木 正 樹 委 員
会議録作成職員	総務企画課総務係主事 平田 拓也
事務局職員	学 校 教 育 部 長 澤 田 石 綱 紀 学 校 教 育 部 次 長 福 田 小 夜 子 ス ポ ー ツ 生 涯 学 習 部 次 長 小 野 寺 徹 示 指 導 室 長 村 上 廣 行 学 校 教 育 課 長 柴 崎 誠 総 務 課 副 主 幹 池 渕 雅 宏 総 務 課 総 務 係 主 事 平 田 拓 也
会 議 案 件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1	委員会開会の宣言（吉本委員長） …15時00分
2	会議録署名委員の指名（鈴木委員）
3	報 告（教 育 長）
	・平成20年度の学校行事も明日の修了式で一段落し春休みに入る。インフルエンザによる学校閉鎖等があり非常に心配であったが、無事に終了できそうな状況である。
	なお、各委員には分担して各小中学校の卒業式に出席いただき感謝申し上げます。子供たちの晴れの姿を見て、各学校の特色ある行事に触れることが出来たのではないか。
	・本日欠席のスポーツ生涯学習部長は、現在、国際アイスホッケー中学生派遣事業に団長として参加している。選手団は19日にカナダへ出発しており、既に交流試合を終え、明日帰途につき明後日には到着する予定である。3月2日には小学生の王子杯兼教育委員会杯の決勝戦が開催され、沼ノ端チームが見事優勝を決めた。また、今年から全国高等学校選抜アイスホッケーに加え、全日本大学アイスホッケー選手権大会も開催されることになった。今後も一層氷上のスポーツが盛り上がるよう、市教委としても努力していきたい。
	・2月20日から3月16日まで第9回定例市議会が開かれ、教育行政執行方針や予算関係について討議された。代表質問の中で学校教育に関する部分を簡単に報告したい。教育委員会議について、常勤化し会議を増やしてはどうか、学校訪問を増やしてはどうか等様々な意見や質問が出されるなか、移動教育委員会を開いてはどうかという意見があり、是非取り組みたいと答弁した。学力学習状況調査結果に対する取り組みについて、小中一貫教育を考えてはどうか、指導主事を増やしてはどうか等の意見が出された。財政的な問題もあるが、様々な取り組みを進めていきたいという観点で答弁した。体力調査に見られる体力低下については、道教委でも対応を考えているところである旨説明した。養護学級の設置計画については、山なみ分校に限定せず取り組みを進めているところである旨説明。通級指導教室を実施するか否かで保護者に不

<p>安を与えたことについては謝罪させていただき、道教委から新たに光洋中・啓明中・和光中・拓勇小に通級指導教室を設置するという承諾を得たことも報告した。学校給食共同調理場の関連では、改築計画はなぜ3年なのか、管理運営の方向性はいつ最終決定するのか等の質問が出された。現在、学校給食運営審議委員会を開いているところであるが、最終的には教育委員会でも検討していかなければならないと考えている。</p> <p>拓勇小学校の規模がこのまま増加していった場合の対応についての質問に対しては、推移を見守る中、計画の見直しが必要であるとした。社会教育関連については、スポーツや文化施設の老朽化にどう対応するのかという質問が多かったが、財政的な問題もあるが改修工事はしていきたいと答弁した。また、図書館の土日の人員が足りないのではないか、美術館について、指定管理者制度の拡大について、沼ノ端健康増進施設とハイランドのプールの関係について等々様々な意見や質問があった。</p> <p>・文教経済委員会では、パクパク給食プロジェクトから調理場建設をめぐる基本計画の市民公開を求める陳情が主旨採択された。また、議会の終了間近に第二学校給食共同調理場煙突のアスベスト飛散事故の問題が発生した。これについては、当面、大きな課題となるため、学校教育部長より追加の報告をさせていただく。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>・第二学校給食共同調理場のボイラー異常燃焼による煙突内のアスベスト含有断熱材の飛散が疑われる事故が発生した。3月9日に事故が起き、私に報告があったのが一週間後の3月16日に場長より口頭での概要報告があった。その日のうちに環境測定を行うよう指示を出した。本日、その測定結果が出され、1週間遅れの測定であったが現状としては数値的に全て下限値以内に収まっており問題ないというものであった。労働基準監督署・北海道環境監視センター・市環境保全課が実際にボイラーを運転している状況や回収したアスベスト含有断熱材等の保管状況について実地検査に入り、労働基準監督署から3月19日に指導表・是正改善書をいただいた。是正改善書には回収したアスベストの保管状況や保管場所について明確に表記をするように書かれており、ボイラー技師等の健康管理の点については今後も推移を見守るよう添</p>

えられていた。これを受けて、3月9日から3月19日までは第二調理場を運営して
きたが、労働基準監督署から今後も再発の危険性があるという指摘があり、3月20
日以降はボイラーの運転を休止している。本日は第一調理場で全て調理して全学校に
配給するという体制をとり、今年度最後の給食配給を終了した。現在は、アスベスト
断熱材の除去を完了し煙突内の鋼管を変えるための作業を春休み期間中に終わられ
るよう鋭意作業を進めている。以上が事故の概要となる。
私への報告が遅れたことについては、今回の事故が機械的な問題であったこと、アス
ベストの含有は認知していたがその影響については認識が甘かったこと等が原因と
考えられる。報道機関から取材の申し込みを受け、報告すべき事態と認識したようで
ある。本市では対策会議を招集し全体の取り組みの中で動いているが、学校教育部と
しても改めて危機管理・連絡体制の整理をしなければならないと思っている。
(佐藤守委員) 数値は問題なかったとのことだが、地域住民やPTAへの説明会等を
開く予定はあるか。
(学校教育部長) 3月24日に住民説明会を開く。主にのぞみ町内会と明德1丁目町内
会の方を対象とし、事故の概要や測定値の結果を報告し、今後の対応
について説明する予定。教育委員会だけでなく、健康管理課、環境保
全課の職員も同席する中で、健康被害等の不安の解消に努めていきたい
い。保護者・児童生徒への説明については、本日、各学校を通して事
故による給食調理への影響はない旨文書を配布している。
4 議案審議
議案第一号 「苫小牧市屋内ゲートボール場規則及び
苫小牧市スポーツセンター規則の一部改正」について

(スポーツ生涯学習部次長)
・ 苫小牧市屋内ゲートボール場規則および苫小牧市スポーツセンター規則の一部改正 について、説明させていただく。(以降、議案第一号資料を読み上げ)
以上の内容について審議の上、承認いただきたい。
(佐藤守委員) 利用方法はどのようになるのか。
(スポーツ生涯学習部次長) 団体の場合は事前の申請が必要になり、個人の場合は発券機等で購入 する形式になる。
(吉本委員長) 他に質問がなければ、原案のとおり承認してよろしいか。
(一同「異議なし」の声)
－原案どおり承認－
議案第二号 「苫小牧市立学校管理規則の一部改正」について
(学校教育部長)
・ 苫小牧市立学校管理規則の一部改正について、説明させていただく。(以降、議案第 二号資料を読み上げ)
以上の内容について審議の上、承認いただきたい。
(佐藤郁委員) 主幹教諭は授業をしながら教頭先生の補佐もすることになるのか。
(教 育 長) そのようになる。主幹教諭登録試験の合格者が主幹教諭となる。本市 では、今回小中1名ずつ計2名の主幹教諭が誕生する予定。大規模校 には設置しなければならないことになるため、これから増えていくと

思う。
(佐藤守委員) 主幹教諭はどのようにして各学校に配置されるのか。学校側の希望等も考慮されるのか。
(教 育 長) 人事異動等は一般教諭と変わらない。学校側の要望も聞き入れ配置することになる。
(佐藤守委員) 職員数が増えるということになるのか。
(教 育 長) 職員数を増やし、教育の充実をはかることが目的である。
(佐藤郁委員) 将来的には全学校に配置されるのか。
(教 育 長) 小学校18学級以上、中学校15学級以上を目標とし、大規模校に配置することになる。
(吉本委員長) 校務の権限等については、変わるのか。
(教 育 長) 主幹教諭は一般教諭で、管理職の扱いではない。
(吉本委員長) 他に質問がなければ、原案のとおり承認してよろしいか。
(一同「異議なし」の声)
—原案どおり承認—
議案第三号 「特別支援学級の通学区域の変更」について
(学校教育部長)
・特別支援学級の通学区域の変更について、説明させていただく。(以降、議案第三号資料を読み上げ)
以上の内容について審議の上、承認いただきたい。
(佐藤守委員) 自由に学校を選べるのか。

(学校教育部長) 校区は定めている。
(吉本委員長) 他に質問がなければ、原案のとおり4月1日から実施するということで、承認してよろしいか。
(一同「異議なし」の声)
—原案どおり承認—
議案第四号 「苫小牧市長の権限に属する事務の委任」について
(学校教育部長)
・苫小牧市長の権限に属する事務の委任について、説明させていただく。(以降、議案第四号資料を読み上げ)
以上の内容について審議の上、承認いただきたい。
(佐藤守委員) 教育委員会のどの課が担当するのか。
(学校教育部長) 学校教育部総務課で担当することになる。
(佐藤守委員) 人事異動もあるのか。
(学校教育部長) 市長部局との事前協議の中では、総務部から学校教育部へ1名配置換えをする方向で進んでいる。
(吉本委員長) 保育園事務は保健福祉部から移管しないのか。
(学校教育部長) こども未来計画の中では、幼稚園事務も保健福祉部で幼保連携をとりながら進めた方が良いのではという動きがあるが、まずは幼稚園教育のあり方について整理統合したいということで今回の提案となった。
(教 育 長) 今回は、補助金に関わる事務についてのみ移管を考えている。今後はもっと広い範囲について考えていかなければならない。様々な場面で

<p>公立幼稚園と私立幼稚園が交流できるようになっていくと良いと思っている。</p>
<p>(吉本委員長) 市長権限の委任は他の自治体でも実施されているのか。</p>
<p>(学校教育部長) 事務委任自体は制度として法律になっているが、他自治体での実施状況は様々である。私立幼稚園の保護者からは入園料と就園奨励費の増額要請や公立幼稚園の廃園要望も出ている。教育委員会としては公立幼稚園の廃園はまだ早いということで進めてきたが、今後は両者の意見を聞きながら進めていかなければならない。私立幼稚園の定員の問題や調整も、今後は教育委員会が行っていくことになる。</p>
<p>(佐藤郁委員) 朝鮮学校の事務について、23年度で終了するというのはどういう意味か。</p>
<p>(学校教育部長) 制度が終了することになっている。</p>
<p>(佐藤郁委員) 問題はないのか。</p>
<p>(学校教育部長) 朝鮮学校に通う児童生徒の保護者が今後どの程度助成を求めてくるかによって検討することになると思う。</p>
<p>(佐藤郁委員) 事前に確認してから終了するのではなく、一旦終了してから要望があれば考え直すということなのか。</p>
<p>(学校教育部長) 総務部からはそのように聞いている。</p>
<p>(佐藤守委員) 園の定員変更は、最終的に教育委員会で判断するのか。</p>
<p>(学校教育部長) 幼児教育協議会で意見集約をしてから教育委員会で協議し、北海道に報告することになる。</p>
<p>(吉本委員長) 今後の様々な状況を踏まえ、教育委員会として公平に判断していくことになるだろう。他に質問がなければ、本件について承認してよろしいか。</p>
<p>(一同「異議なし」の声)</p>

－原案どおり承認－

議案第五号 苦小牧市学校評議員の委嘱について

(人事案件のため、秘密会とする旨議決する)

議案第六号 教職員の処分内申について

(人事案件のため、秘密会とする旨議決する)

議案第七号 教育委員会事務局人事について

(人事案件のため、秘密会とする旨議決する)

5 協 議

協議第一号 平成21年度全国体力・運動能力運動習慣等調査

への参加について

(指導室長)

・文部科学省が本調査を行うことを決定し、道教委からは参加の意向確認の通知が発出されている。本市としてもこの調査に参加せざるを得ないと考えている。詳細につ

<p>いては、資料に基づき説明させていただく。(以降、協議第一号資料を読み上げ)</p>
<p>以上により、来年度の参加について、協議をお願いしたい。</p>
<p>(吉本委員長) 昨年に引き続き今年もという流れもあるが、学力検討委員会に判断を委ねるといえるのはどうか。</p>
<p>(指導 室長) 学力検討委員会で体力についても総合的に検討していくことが一番現実的な方法かもしれない。</p>
<p>(鈴木 委員) 年に一度の調査だけでは不十分な気がする。調査結果を見て指導していくのではなく、何かを実践した結果として調査をした方が良いのではないか。</p>
<p>(指導 室長) この調査で全てが分かるわけではないが、全国との比較により本市の傾向が分かることに意義があると思う。</p>
<p>(教 育 長) 改善策については、気候等も考慮した上で本州とは違う観点で考えていかななくてはならないと思う。</p>
<p>(佐藤郁委員) 毎年同じ学年で調査を行って、改善されているかどうか判断できるのか。</p>
<p>(指導 室長) 数値のみの判断なので難しい部分もあるが、生活習慣や運動習慣を検討する材料にはなっていると思う。</p>
<p>(佐藤郁委員) 総合的に検討していくということは、子供の肥満や高血圧、若年性糖尿病等の問題と生活習慣や食生活との関係についての調査も含まれているということになるのか。</p>
<p>(指導 室長) 報告書には肥満度の状況も載っているが、まだ詳しい分析には至っていない状況である。今後、肥満と生活習慣の関係を調査していくことは必要である。この調査だけでなく、子供たちの変化を分析していくことが大切だと思っている。</p>
<p>(吉本委員長) 今後も、方法や結果、改善法について、まだ検討が必要だと思うが、</p>

実施に向けて進めていってはどうか。
(教 育 長) 何年か積み上げていき今後の方策を考えていくヒントにするという観点から、実施するというのであれば良いのではないか。
(吉本委員長) 他に意見がなければ、来年度も実施するという結論でよろしいか。
(一同「異議なし」の声)
6 その他
(佐藤守委員) 先日市P連の会長会議に出席した。その中で何点か教育委員会に対する要望や質問があったので報告させていただく。
①卒業式の日曜開催を検討してほしい
②校長先生と教頭先生が同時に人事異動することを避けてほしい
③給食費の滞納者に対する督促に対して基準を示せないのか、生活保護を受けている家庭の給食費は保護費の中から校長先生に支払われているのか
④アウトリーチ推進事業の申し込みは既に定数を満たしているのか
以上について、回答をお願いしたい。
(指導 室長) ①について、高校受験と合格発表の間で毎年同じ日に決めている。卒業式の日も教育委員会で判断することではなく、実際には校長先生が判断することなので、校長会で話してみたい。
(教 育 長) ②について、人事異動については市教委からも内申はするが、最終的には道教委の判断になるので、その旨道教委にも伝えていきたい。
(学校教育部次長) ③について、特に基準等はないが、督促に対して何も反応がない滞納者を悪質と判断している。まだ100%の実施率ではないが、生活保護家庭の給食費については、保護者から委任状をもらって校長先生に

